

昭和 6 3 年 3 月招集

第 1 回館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

◎第1号（3月1日）

開 会	9
議長の報告	9
議案の配付	10
会議録署名議員の指名	10
会期の決定	10
会議日程の決定	10
議案第1号～議案第25号（施政方針、提案理由の説明）	11
延 会	28
本日の会議に付した事件	28

◎第2号（3月8日）

開 議	34
行政一般通告質問	34
田沢 勝信君の質問、当局の応答	34
脇田 安保君の質問、当局の応答	49
鈴木 勝美君の質問、当局の応答	62
日下 君敏君の質問、当局の応答	70
山中金治郎君の質問、当局の応答	86
延 会	95
本日の会議に付した事件	95

◎第3号（3月9日）

開 議	100
行政一般通告質問	100
神田 守隆君の質問、当局の応答	100
永井 龍平君の質問、当局の応答	113
辻田 実君の質問、当局の応答	125
散 会	144

本日の会議に付した事件	144
-------------	-----

◎第4号（3月10日）

開 議	149
議案第8号～議案第23号	149
神田 守隆君の質疑、当局の応答	149
辻田 実君の質疑、当局の応答	156
委員会付託	173
議案第24号、議案第25号	173
神田 守隆君の質疑、当局の応答	173
辻田 実君の質疑、当局の応答	183
委員会付託	187
請願第8号～請願第10号	187
委員会付託	187
延 会	187
本日の会議に付した事件	188

◎第5号（3月11日）

開 議	192
議案第1号～議案第7号	192
脇田 安保君の質疑、当局の応答	193
神田 守隆君の質疑、当局の応答	200
辻田 実君の質疑、当局の応答	219
予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	251
会議日程の変更	252
延 会	252
本日の会議に付した事件	253

◎第6号（3月22日）

開 議	259
追悼の言葉	260

黙　　禱	2 6 2
議案の配付	2 6 2
議案第 8 号～議案第 1 5 号、議案第 2 4 号	2 6 3
総務委員会委員長報告	2 6 3
神田　守隆君の討論	2 6 5
辻田　実君の討論	2 6 6
採決	2 6 7
議案第 1 6 号～議案第 2 0 号、議案第 2 5 号	2 6 8
文教民生委員会委員長報告	2 6 8
辻田　実君の討論	2 7 0
採決	2 7 2
議案第 2 1 号～議案第 2 3 号	2 7 3
建設経済委員会委員長報告	2 7 3
採決	2 7 4
請願第 8 号、請願第 9 号	2 7 4
総務委員会委員長報告	2 7 4
神田　守隆君の討論	2 7 5
採決	2 7 7
日程の追加・発議案第 1 号	2 7 8
説明	2 7 9
委員会付託の省略	2 7 9
採決	2 8 0
請願第 1 0 号	2 8 0
文教民生委員会委員長報告	2 8 0
採決	2 8 1
議長の報告	2 8 2
議案第 1 号～議案第 7 号	2 8 2
予算審査特別委員会委員長報告	2 8 2
神田　守隆君の討論	2 8 8
辻田　実君の討論	2 9 1
日下　君敏君の討論	2 9 7

採決	2 9 8
議案第 2 6 号	2 9 9
説明	2 9 9
委員会付託の省略	3 0 0
採決	3 0 0
議案第 2 7 号	3 0 1
説明	3 0 1
委員会付託の省略	3 0 1
採決	3 0 2
議案第 2 8 号	3 0 2
説明	3 0 2
委員会付託の省略	3 0 3
採決	3 0 3
日程の追加・議案第 2 9 号	3 0 3
説明	3 0 4
委員会付託の省略	3 0 5
採決	3 0 5
閉 会	3 0 5
本日の会議に付した事件	3 0 6

第 1 回 館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 昭和63年3月1日(火曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1番 脇田 安保
3番 田沢 勝信
5番 岩村 勝弘
7番 生稲 隆
9番 山口 康雄
11番 神田 守隆
13番 山中金治郎
15番 横溝 功
17番 石井 謀
19番 川名 正二
21番 辻田 実
23番 流山源次郎
26番 近藤 好雄
28番 飯田 義男

2番 永井 龍平
4番 庄司二三男
6番 山崎 雅己
8番 鈴木 勝美
10番 鈴木 忠夫
12番 榎本 春光
14番 小宮 利夫
16番 石井 昌治
18番 日下 君敏
20番 福原 勤
22番 黒川 平治
25番 渡辺 昭夫
27番 林 豊

1 欠席議員 1名

24番 松下 正己

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 飯野 芳郎
経済部長 安西 良一
教育委員会会長 山田 教和
選挙管理委員会会長 加藤 利
監査委員 鈴木 重司
農業委員会会長 斎藤 明

助役 小倉 澄男
市長公室長 錦織 茂
民生部長 渡辺 弘
水道課長補佐 山中 通夫
教育委員会会長 福原 修
教育委員会会長 佐藤 輝雄
選挙管理委員会書記長 橋本 巖利
監査事務局長 池田 六郎
農業委員会会長 事務局長

1 出席事務局職員

事務局長 庄司 利光
書記 鈴木 哲

事務局長補佐 兵藤 恭一
書記 土橋 康彦

書 記 加藤 浩一

1 議事日程 (第1号)

昭和63年3月1日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

- 議案第 1号 昭和63年度館山市一般会計予算
- 議案第 2号 昭和63年度館山市国民健康保険特別会計
予算
- 議案第 3号 昭和63年度館山市老人保健特別会計予算
- 議案第 4号 昭和63年度館山市ユースホステル特別会
計予算
- 議案第 5号 昭和63年度館山市学童災害共済事業特別
会計予算
- 議案第 6号 昭和63年度館山市水道事業特別会計予算
- 議案第 7号 昭和63年度館山市国民宿舎事業特別会計
予算
- 議案第 8号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用
弁償に関する条例の一部を改正する条例の
制定について
- 議案第 9号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に
関する条例の一部を改正する条例の制定に
ついて
- 議案第10号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関
する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて
- 議案第11号 議会の議決に付すべき公の施設の独占的利
用等に関する条例の一部を改正する条例の
制定について
- 議案第12号 館山市立博物館資料購入基金条例の制定に
ついて

日程第4 }

- 議案第 1 3 号 新たに生じた土地の確認について
- 議案第 1 4 号 新たに生じた土地を市の区域内に編入することについて
- 議案第 1 5 号 財産の無償譲渡について
- 議案第 1 6 号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 7 号 館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 8 号 館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 9 号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 0 号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 1 号 館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 2 号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 3 号 市道路線の変更及び認定について
- 議案第 2 4 号 昭和 6 2 年度館山市一般会計補正予算（第 4 号）
- 議案第 2 5 号 昭和 6 2 年度館山市老人保健特別会計補正予算（第 2 号）

開 会 午前 1 0 時 0 3 分

○議長（飯田義男君） 本日の出席議員数 2 6 名、これより昭和 6 3 年第 1 回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（飯田義男君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 1 2 1 条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告があり

ましたので、御了承願います。

なお、監査委員から12月乃至1月実施の監査結果及び市長から地方自治法第180条の規定による専決処分が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（飯田義男君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（飯田義男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

6番議員山崎雅己君、21番議員辻田実君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（飯田義男君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本3月1日から3月22日までの22日間ということであります。

お諮りいたします。会期を22日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、会期は3月1日から3月22日までの22日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（飯田義男君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。

た。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(飯田義男君) 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長(飯田義男君) 日程第4、議案第1号乃至議案第25号の各議案を一括して議題といたします。

施政方針並びに提案理由の説明

◎議長(飯田義男君) これより昭和63年度施政方針並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

(市長半澤良一君登壇)

◎市長(半澤良一君) 本日、ここに3月定例市議会を招集し、昭和63年度一般会計及び特別会計の予算案並びに諸議案につきまして、御審議をお願いいたしますが、開会に当たり新年度の市政運営に関する所信を申し述べたいと存じます。

最近の我が国経済は、日米間に代表される国際収支の不均衡、円高ドル安基調など、不安定な要素はあるものの内需主導型への転換を受けて景気は緩やかな拡大に向っております。国の財政は、多額の公債残高を抱え、一層の財政改革の推進や税制の抜本的見直しが急務であり、赤字国債依存体質からの脱却が求められており、また、地方財政においても国庫補助負担率の引き下げが続くなど、依然として厳しい状況にございます。

このような状況下ではございますが、南房総地域は、東京湾横断道路の着工、千葉新産業三角構想などのビッグプロジェクトが進展しつつあります。さらに、東関東自動車道館山線が国土幹線自動車道として位置づけられました。いずれも長年の念願であった袋小路性からの脱却につ

ながるものでございます。加えて、半島振興計画に基づく事業の展開、リゾート法による有力な候補地として注目を浴びるなど、当地域の開発ポテンシャルは一気に高まりをみせております。まさに、大きな時代の転換期を迎えたのでございます。

このように本市を取り巻く情勢が大きく動き出している今こそ、長期的な観点に立ち、市民と共に知恵を出し合い、共に行動し、館山の特性を生かした、活力ある地域社会を築き上げなければなりません。多くの先人のたゆまぬ努力で培われた歴史を発展させ次の世代へ引き継ぐことは、我々に与えられた大きな課題でございます。このため、3年目を迎える館山市総合計画に基づく諸施策を積極的に推進するとともに、刻々と変化する情勢へ柔軟に対応しつつ、「活力ある文化福祉都市」の実現に向けて力強く前進してまいり所存でございます。

私は、地域の活性化とは、生活文化の創造ではないかと考えます。すなわち、産業の振興、雇用の確保に加え、都市としての生活基盤や都会の楽しさを含んだ、広い意味での文化を創り出してこそ、真の活力が生まれてくるものでございます。こうした意味から、これまで国道127号館山バイパスの建設促進や、館山駅周辺の市街地改造等を進めるとともに、城山公園に博物館や彫刻の径などを設置し、にぎわいとうるおいがある都市空間を創出してまいりました。さらには、コミュニティ活動の推進や福祉の充実など、ふれあいのある地域社会の形成にも努めてまいりました。

今後とも、まちづくりの基礎的条件づくりとあわせて、海洋性リゾートタウンの建設を核に、農林水産業、商業、観光等のあらゆる産業の連携を深めるとともに、リゾート地にふさわしい新たな企業の誘致を推進するなど、地域振興対策に全力を傾けてまい進する決意でございます。

また、昭和64年度には、市制施行50周年を迎えます。このため、半世紀の歩みにふさわしい記念事業について、市民の皆様と共に検討してまいりたいと考えております。

これらを念頭に、本年度の予算は、館山駅周辺市街地整備事業、道路交通網整備事業、河川等の浄化対策、上下水道整備事業、都市公園整備事業等を重点に、健全財政の堅持を図りながら編成いたしました。

以下、主要施策の概要につきまして、順次御説明いたします。

第1は、快適でゆとりある生活環境都市づくりでございます。

都市の骨格を形成する都市基盤施設は、安全で効率的な機能とあわせて、うるおいとやすらぎの空間を創出するため、重点的な整備に努めております。

まず、本市の最優先施策として積極的に取り組んでおります館山駅周辺市街地整備事業につきましては、地元住民との合意形成を図りつつ、早期実現に向けて鋭意努力しているところでございます。

西口地区の土地区画整理事業につきましては、この3月には都市計画決定を行い、いよいよ事業に着手するための具体的なプランを策定する運びとなりました。そこで本年度は、事業計画を作成し事業認可を受けるとともに、実施計画の作成、減歩率を緩和するための用地先行取得等を推進するほか、関連事業として北条海岸排水路整備事業を引き続き実施し、土地区画整理事業の着実な進展を図ってまいります。

東口地区の市街地再開発事業につきましては、地権者との協議をより一層積極的に実施し、合意形成を図った上で、地元を誘導するための基本計画の検討を進めてまいりる考えでございます。

また、駅東西の一体性を確保するため、将来の橋上駅舎化を踏まえた自由通路等の調査設計を行い、土地区画整理事業の進捗に合わせつつ、その実現に向けて努力してまいります。

次に、道路交通網の整備では、国道127号館山バイパスが64年度中に全線開通できますよう、建設を促進するとともに、東関東自動車道館山線及び主要地方道館山白浜線バイパスの早期建設を実現するため、関係機関への積極的な働きかけを行い、広域幹線道路網の確立を目指してまいります。また、八幡高井線につきましては、館山バイパスの完成に合わせて供用ができるよう引き続き建設を進めてまいります。特に、本路線の場合は、市街地へのアクセスとし、また、海岸へ接続する観光道路としての役割を担うため、文化性に配慮して沿道を修景整備いたします。市道の整備につきましては、用地買収を推進し、改良、舗装及び橋梁整備等を実施するほか、文化性にも意を用いた案内標識の設置や生活に密着した私道舗装等の整備に助成するなど、きめ細かな対策を実施

し、利便性、安全性の向上を図ってまいります。

居住環境改善のため建設しております真倉市営住宅が8月に完成の予定でありますので、早期に入居ができるよう配慮いたします。

次に、緑豊かな空間として市民生活にやすらぎと潤いを与える都市公園の整備につきましては、城山公園に園路、排水路等を整備し、より親しまれる総合公園として、また、観光の拠点としての機能充実を図ってまいります。一方、県立館山運動公園ですが、64年度の完成を目指して体育館の建設が着手されます。全国レベルの大会が可能な規模の体育館でございますので、内容、機能の充実を県に要請してまいります。

上水道の整備につきましては、水需要の増大に対応できるよう福沢ダム建設を促進するとともに神余地先のダム計画を進め、水源の確保と未給水地域の解消に努力してまいります。

下水道といたしましては、市内全域を対象として集合処理可能区域の設定及びその整備手法について調査を実施いたします。また、この調査との整合を図りつつ、公共下水道を建設するための基礎調査等に着手いたします。このほか、都市下水路、地区排水路の整備等を推進いたします。

次に、防災対策ですが、3カ年継続事業として防災行政無線の整備をいたしました。今後とも自主防災組織の育成や防災訓練、防災資機材等の充実を図り、災害への対応に万全を期してまいります。

環境対策につきましては、河川、海域等の浄化を図るため、三軒町排水路に設置する生活排水処理施設の建設事業に着手いたします。また、家庭でできる浄化対策の有効な手段である小型合併処理浄化槽の設置に対する補助制度を新たに設け、普及に努めてまいります。このほか、引き続き排水路への直接浄化施設の設置及び市民への啓発、実践活動を推進し、公共用水域を保全するための総合的な浄化対策を実施してまいります。

次に、自然環境対策につきましては、古くから、多くの人々に親しまれてきた館山湾の現況と浸食等の原因調査を実施してまいります。

第2は、温かい心のかよう健康福祉都市づくりでございます。

市民すべてが、健康で生きがいを持って生活できることが、明るく活

力に満ちた地域社会を形成するものと考えます。「健やかな地域社会は自分で築き守る」を基本にしながらも、行政として、きめ細かい配慮が必要でございます。

まず、健康づくりは、各種検診の受診率向上と内容の充実、健康意識の高揚に努めます。成人病予防対策としての総合検診は、引き続き全地区で実施いたしますが、保健婦活動の推進に加え、新たに栄養士も各地区に派遣し、食生活改善の面からも疾病予防と事後指導を徹底させてまいります。

死亡の大きな原因を占めるガン対策では、肺ガンの診断として従来の胸部レントゲン撮影、二重読影に加え、本年度から喀痰検査を採用して、一層、精度管理を向上させ、さらに各種健康教育、市民健康まつり等の充実を通じて保健意識の普及、高揚に努め、総合的な健康づくりを推進いたします。

市民福祉の充実につきましては、高齢者の方々、心身に障害をもつ方々が、施設福祉はもちろんといたしまして、地域社会の中で自立と自助を基本にしながらも、互助と扶助が効率よく組み合わされて、より一層、福祉が向上するものと考えております。このため、社会福祉協議会を通じてボランティアを育成するほか、関係団体への助成等、地域ぐるみの福祉活動を推進いたします。

地域社会で、これらの方々が幸せに生活するには、在宅サービスの充実が必要でございます。保健婦による訪問活動及び家庭奉仕員活動の充実、ショートステイの拡充に加え、保健・医療・福祉の総合調整機関として「高齢者サービス調整チーム」を発足させます。また、高齢者の生きがい・社会参加・就労対策としての高齢者事業団の設置も、引き続き検討してまいります。

スポーツ・レクリエーション施策は、市民が楽しく、気軽に参加できる各種教室や大会の開催、指導者の育成、団体への助成を通じ、生涯スポーツの観点から振興を図ります。また、年々参加者が増えています「館山若潮マラソン大会」も、市民の体力づくりと地域振興の両面から、一層充実させて実施してまいります。

第3は、地域の個性が生きる人間性豊かな文化教育都市づくりでござ

います。

学校教育、社会教育、芸術文化など、あらゆる機会を通じて市民が「わがまち」の歴史と風土に誇りを持つことで、地域文化が育つと考えます。

まず、学校教育ですが、一人一人の個性や能力を大切に、心身共に健全な児童生徒を育成するとともに、国際感覚の養成と英語教育充実のため、引き続き外国人教師招へい等の事業を推進し、教育内容の充実に努めてまいります。施設面では、年次計画により北条小学校校舎等の大規模改修に取り組むほか、本年度は、館野小学校、房南中学校を整備いたします。また、パーソナルコンピュータを年次的に各学校に配備し教育効果の向上を図ります。

社会教育につきましては、経済社会の進展により、心の豊かさや生きがいを求める傾向が強まり、生涯学習に対する欲求は、量的に増大し、かつ、高度化、多様化してきているところでございます。このため、従来から進めております各種学級、講座の充実に努め、利用状況を一層向上させるとともに、社会教育団体につきましては、自主的な活動を助長する一方、施設相互の連携を密にしながら生涯学習活動の高揚を図ってまいります。

市民一人一人の個性化、創造性の強まりを反映し、文化に対する関心と意欲はますます高まるものと考えられます。このような状況の中で、さまざまな文化に接する機会の拡大を図るため、造形作品の設置、音楽鑑賞機会の提供、千葉県移動美術館の開催等の事業を推進いたします。あわせて、博物館においては、文化遺産の保全と郷土学習の場として、資料の収集に力を注ぐとともに、調査、研究、企画展等を実施いたします。このような活動を通して、市民とともに新しい地域文化の創造に努めてまいります。

第4は、創造力と活力に満ちた産業都市づくりでございます。

まず、海洋性リゾートタウン計画でございますが、「健康志向、ふれあい志向に対応した高質なりゾート地の形成」を基本理念とする構想を策定しつつあります。本年度は、集客力を高めるための具体的な方策等の調査を実施するとともに、館山リゾート研究会を運営し、適正なりゾ

一産業の誘導を図りながら実現化を積極的に推進し、リゾート法の地域指定を目指して全力を傾注してまいります。

新たな産業立地対策等を確立するための産業振興調査につきましては、62年度に実施した基礎調査をもとに、新規産業の立地や、地場産業の振興についての具体的な方策を探り、基本計画を策定いたします。

農業では、幹線農道、ほ場等の生産基盤の整備や、農用地流動化事業等を推進し、経営の近代化を促進するとともに、野菜の安定的な出荷体制を図るため、野菜産地育成事業として予冷库を導入いたします。また、引き続き豊房育成牧場の管理委託を実施し、民間活力の活用を図るほか、有志農家によるヘルパー制度の導入など、経営環境改善への助言等により畜産振興を図ってまいります。さらには、まちとむらの交流事業を推進するための施設を整備するとともに、21世紀の農業・農村を展望した「新しいむらづくり基本構想」を策定し、活力ある農村社会の形成に努めてまいります。

水産業は、年次計画に基づきまして漁港及び関連施設の整備を図るとともに、魚介類の種苗放流、魚礁の設置など「つくり、育てる漁業」を推進してまいります。新たな漁業振興策として実施されております「館山海の幸宅配便」につきましては、宣伝活動を積極的に進めるなど事業の促進に努めてまいります。

商業につきましては、館山商店街協同組合によるコミュニティモデル事業やコミュニティホール建設を推進するなど、商店街の環境整備を促進し、魅力ある商店街づくりに努めます。

また、大型店進出対策資金利子補給事業などを通じて、経営の合理化・近代化の促進を図っていくほか、商工会議所及び商店会連合会等の関係団体との連携を密にしながら、商業の活性化を図ります。

観光は、年々厳しさを増す地域間競争を乗り越えるため、関係団体等との連携のもとに、各種イベントの充実強化を図るとともに、広域的宣伝活動を展開するほか、第1次産業あるいはスポーツなど関連事業との結びつきも深め、南房総館山の集客力を向上させる施策を展開いたします。「リゾートタウン館山レジャー・アンド・スポーツクラブ」は、一層の会員拡大を図るなど、四季を通じての誘客を推進いたします。

同時に温暖な気候、花の産地という特性を生かす施策も積極的に推進いたします。フラワーラインでは沿道の植栽に加え、観光拠点の南房パラダイスは、「シンガポールらん館」等が整備されますので、一層の観光客増加が見込まれる状況でございます。さらに積極的な沿道への植栽、既設花壇の充実、本市への主要進入路に新設する花壇と一体となった歓迎塔など、「花のまちづくり運動」とも十分な統一性を保ちながら、地域イメージを高揚させてまいります。

第5は、自立と連帯で築くコミュニティ都市づくりでございます。

本市が誇る温かい人情を基盤に、市民の連帯意識と参加によって、まちづくりが進むものと考えます。

市民自治の確立を目指すコミュニティづくりは、推進組織結成10周年を迎えますので、記念誌の発行等、記念事業を実施するとともに、より一層の共同意識、連帯感の醸成を図り市民参加を推進してまいります。

また、清潔で美しいまちづくりを基本理念とする「クリーン・アンド・ビューティフル運動」につきましては、コミュニティ連絡協議会や町内会連合協議会などの関係団体及び関係機関と共同して、さらに地域に根をおろした推進組織の拡大に努め、市民のための市民総参加の運動として、市民と行政が一体となり積極的に推進してまいります。

以上の施策を中心といたしまして、昭和63年度館山市一般会計予算の編成を行いました結果、歳入歳出予算の総額は102億2846万円で、前年度予算に対し、6億4680万円、6.8%の増となっております。

歳入予算の内容についてでございますが、社会経済情勢の動向、国・県の予算編成方針、地方財政計画、本市の現状及び過去の実績などを十分配慮し算定いたしました。

まず、市税では、税制の抜本的改革との関連から、当面、早急に実施すべき措置といたしましての、昭和62年度及び63年度の税制改正等を勘案いたしまして、52億8504万余円を計上いたしましたほか、地方交付税12億円、分担金及び負担金1億7468万余円、使用料及び手数料3億2329万余円、国庫支出金9億187万円、県支出金3億8030万余円、繰入金は財政調整基金の活用を含め2億5870万

余円、諸収入 2 億 5 8 0 2 万余円、市債 8 億 4 3 1 0 万円、また、昭和 6 3 年 4 月 1 日からの道府県民税利子割の創設に伴う、利子割交付金 2 9 0 0 万円等を計上いたしました。

次に、歳出予算につきましては、館山市総合計画の計画事業を着実に達成することを基本姿勢といたしまして、投資的経費への積極的な財源配分による通年型予算を編成いたしました。

まず、性質別の内容についてでございますが、人件費 2 9 億 6 4 6 3 万余円、物件費 1 1 億 3 5 9 0 万余円、扶助費 9 億 1 4 6 8 万余円、普通建設事業費 2 6 億 1 4 0 7 万余円、公債費 1 2 億 1 9 4 1 万余円、その他 1 3 億 7 9 7 5 万余円となっております。

以下、目的別内容につきまして各款別にその概要を申し上げます。

第 1 款議会費は、議会運営に要する経費といたしまして、1 億 9 6 8 3 万余円を計上、前年度対比 8 . 8 % の増となっております。

第 2 款総務費は、一般管理費、文書広報費、企画費、防災・交通関係費、徴税費と昭和 6 4 年 3 月に予定されます県知事選挙に係る経費を中心に、1 2 億 7 7 0 3 万余円を計上、前年度対比 5 . 2 % の増となっております。増額の主な理由といたしましては、市庁舎の老朽化に伴う窓枠等の改修工事費、また、除籍及び改製原戸籍の汚損、破損が著しいため、再製とあわせ見出帳の整備を実施するための委託料等によるものでございます。

第 3 款民生費は、ボランティア活動をはじめとする地域ぐるみの福祉活動費、福祉作業所運営費等障害者福祉対策、高齢化社会に対応する老人福祉対策、児童福祉対策、生活保護費等を中心に、1 6 億 2 0 4 9 万余円を計上、前年度対比 5 . 2 % の減となっております。減額の主な理由といたしましては、船形保育園の移転改築事業の完了及び生活保護費に係る各種扶助費のうち、医療扶助費の減によるものでございます。なお、本年度は、国民健康保険特別会計への繰出金 5 2 3 4 万余円を計上いたしました。これは、制度改正及び財政状況を勘案してのものでございます。

第 4 款衛生費は、健康の保持増進対策、河川及び家庭雑排水等の浄化対策、清掃・衛生施設の整備、維持管理費、水道事業に対する繰出金等

を中心に、11億3016万余円を計上、前年度対比16.2%の増となっております。増額の主な理由といたしましては、生活排水処理施設の建設費及び家庭用小型合併処理浄化槽設置に対する補助金によるものでございます。

第5款労働費は、勤労者の厚生対策、各種勤労団体への補助等の経費で、790万余円を計上いたしました。

第6款農林水産業費は、農業費といたしまして、生産基盤整備のための農道整備及び土地改良事業費、まちとむらの交流事業経費、農業用施設等補修用材料費、豊房育成牧場管理費、水産業費といたしまして、水産物の安定供給及び水産資源の開発対策、生産基盤の整備としての漁港整備等を中心に、総額4億8299万余円を計上、前年度対比2.6%の減となっております。減額の主な理由といたしましては、県営漁港整備工事負担金等の減によるものでございます。

第7款商工費は、商工業振興費といたしまして、商店街の環境整備等近代化対策、中小企業金融対策、観光費といたしまして、海洋性リゾートタウン事業の業務委託費、観光行事への補助等観光振興対策、海岸の美化対策、海水浴場の安全対策等を中心に、1億7858万余円を計上、前年度対比4.2%の増となっております。増額の主な理由といたしましては、地域振興対策としての企業立地基本計画策定経費等によるものでございます。

第8款土木費は、道路、河川、館山駅周辺の市街地整備、都市公園の充実及び公営住宅等の経費を中心に、21億8491万余円を計上、前年度対比32.1%の増となっております。増額の主な理由といたしましては、館山駅西口地区土地区画整理事業に係る用地取得費、館山湾海浜現況調査等経費、また、県立館山運動公園の体育館建設に伴う負担金及び真倉市営住宅の建設費等によるものでございます。

第9款消防費は、消防施設整備、消防団関係費、広域消防に係る負担金等を中心に、4億5005万余円を計上、前年度対比7.7%の増となっております。

第10款教育費は、教育環境整備のための、館野小学校プール建設、北条小学校校舎等改修及び房南中学校浄化槽設置工事のほか、各学校及

び幼稚園施設の整備、維持管理費、各種文化教養講座等公民館費、図書館費、博物館費、各種スポーツ振興対策等を中心に、14億1471万円を計上、前年度対比4.9%の減となっております。減額の主な理由といたしましては、第二中学校講堂防音改築事業の完了によるものでございます。なお、博物館資料の充実を図るため、資料購入基金を設置し、1000万円の繰出金を予定いたしました。

第11款災害復旧費は、農業用施設の補修用材料費等500万余円を計上いたしました。

第12款公債費は、地方債元金及び利子の償還金等12億1975万余円を計上いたしました。

第13款諸支出金は、4000万円。第14款予備費は、2000万円をそれぞれ計上いたしました。

以上が、一般会計当初予算に計上いたしました内容の概要でございます。

次に、債務負担行為といたしまして、生活排水処理施設建設費及び館山市農業協同組合が、農道整備資金として農林漁業金融公庫から融資を受けた、借入金の償還に対する補助につきまして、それぞれ設定いたしました。地方債といたしまして、生活排水処理施設整備事業をはじめ9件を予定し、一時借入金につきましては、最高限度額を10億円といたしました。

以上が、議案第1号の概要でございますが、次に、議案第2号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第2号昭和63年度館山市国民健康保険特別会計予算でございますが、歳出につきまして、医療費及び老人保健拠出金の増高等を考慮いたしますとともに、歳入につきまして、保険基盤安定制度の改正を見込む一方、被保険者の負担の軽減を図るため、一般会計及び財政調整基金の繰り入れ措置を講じ、その結果、歳入歳出それぞれ30億8571万余円を計上いたしました。

次に、議案第3号昭和63年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療費の増高傾向等過去の実績等を勘案し、一般会計からの繰入金1億4069万円を含めまして、歳入歳出それぞれ28億81

14万円を計上いたしました。

次に、議案第4号昭和63年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費といたしまして、歳入歳出それぞれ2381万余円を計上いたしました。

次に、議案第5号昭和63年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ211万余円を計上いたしました。

次に、議案第6号昭和63年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、水道料金、手数料等、収益的支出といたしまして、営業費用、企業債利息等で、それぞれ6億886万円、また、資本的収入といたしまして、一般会計からの出資金及び加入者分担金等で、7591万余円、資本的支出といたしまして、水道施設工事費等建設改良費及び企業債償還金等で、2億4195万余円をそれぞれ計上いたしました。主な事業といたしましては、神余地先のダム計画に係る調査費及び国道127号館山バイパス建設に伴う配水管の布設等でございます。

次に、議案第7号昭和63年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、宿泊料金等、収益的支出といたしまして、宿舎経営費等営業費用及び企業債利息等で、それぞれ1億9406万余円、資本的支出といたしまして、企業債償還金で1414万余円を計上いたしました。

以上、各会計の昭和63年度予算の概要につきまして御説明申し上げましたが、一般会計及び特別会計予算総額は、172億8028万余円でございます。

次に、議案第8号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の報酬額は昭和61年4月に改定されたものであり、その後の一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去における報酬額の改定の経緯等を考慮いたしまして、市議会議員に関する報酬額につきましては、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、その答申を尊重し、昭和63年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

また、各種行政委員会の委員及びその他の特別職の報酬につきましても、昭和63年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第9号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の給料額は昭和61年4月に改定されたもので、その後、一般職につきましては、昭和61年度、昭和62年度の2度にわたり給与改定がそれぞれ4月にさかのぼり実施されており、また、県内各市との均衡等を考慮いたしまして館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、昭和63年4月1日から給料額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第10号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回、収入役の給料と同額に改定しようとするものでございます。

次に、議案第11号議会の議決に付すべき公の施設の独占的利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、昭和61年5月30日地方自治法の一部を改正する法律が施行され、地方自治法第96条第1項に第7号として、「財産を信託すること。」が1号加えられたため、本条例の関係条文を改正し、あわせて条文中の用字等につきまして整備しようとするものでございます。

次に、議案第12号館山市立博物館資料購入基金条例の制定についてでございますが、博物館では市の歴史、芸術、民俗等に関する資料を収集、保管し、市民に文化財に親しむ機会を提供するため、これらを展示しながら収蔵資料の充実を図っております。しかしながら、売りに出される資料の中には、本市にとって貴重な資料もあり、これらの購入に当たり基金制度を設置することにより、資料の収集を円滑にし、収蔵資料の一層の充実を図ろうとするものでございます。

次に、議案第13号新たに生じた土地の確認についてでございますが、昭和62年12月9日付千葉県知事から、公有水面埋立てにより新たに生じた土地の確認及び字の区域の設定について依頼がありましたので、

地方自治法第9条の5第1項の規定により、館山市沼字仲浜1706番5地先から館山市沼字東浜1727番2地先の公有水面埋立地6836.81㎡の土地について、市の区域内に新たに生じた土地として確認の上、千葉県知事に届け出ようとするものでございます。

次に、議案第14号新たに生じた土地を市の区域内に編入することについてでございますが、議案第13号をもって新たに生じた土地の確認をお願いいたしました館山市沼字仲浜1706番5地先から館山市沼字東浜1727番2地先の公有水面埋立地6836.81㎡の区域を地方自治法第260条第1項の規定により、館山市沼字仲浜に編入の上、千葉県知事に届け出ようとするものでございます。

次に、議案第15号財産の無償譲渡についてでございますが、本議案は、議案第19号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてと関連がございますが、設置後20年を経過した5青年館を地元町内会等に無償譲渡しようとするため、地方自治法第237条第2項の規定により、議会の議決を求めようとするものでございます。

次に、議案第16号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、幼稚園長兼務手当及び地区公民館書記兼務手当につきましても、他の特別職の職員と同様、昭和63年4月1日から手当額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第17号館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国の昭和62年度地方交付税算定上の基準に合わせまして入園料を改定し、教育環境の整備充実と幼稚園教育の一層の振興を図ろうとするものでございます。改正の内容でございますが、入園料1回につき現行6000円を7200円に改め、昭和63年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第18号館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、館山市立船形保育園につきましましては、本年2月に完成し、3月中に移転を完了いたしますので、保育園の位置を変更し、また、館山市立房南保育園につきましましては、神戸、富崎地区の要措置児童の減少により、現在の定員60名を40名に改めようとするもので、

これらはいずれも昭和63年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第19号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、設置後20年を経過した5青年館につきまして、これを廃止し、多面的な利用を図るため、地域のコミュニティ集会施設として地元町内会等に払い下げしようとするものでございます。

次に、議案第20号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、消防団員の報酬額につきましても、他の特別職の職員と同様、昭和63年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第21号館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、中小企業の振興を図るため、市内中小企業者に対する貸付金の限度額等の改正をしようとするものでございます。改正の内容でございますが、運転資金につきましては現行の200万円を300万円以内に、設備資金につきましては現行の300万円を500万円以内に改め、また、運転資金に係る貸付期間につきまして、現行の2年以内を3年以内に延長しようとするものでございます。このほか、条文の整備をお願いするもので、昭和63年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第22号館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、昭和57年12月27日付環境庁自然保護局長通知による「国民宿舎利用料基準」に基づいて、千葉県国民宿舎連絡協議会の申し合せにより、宿泊利用料を利用者の多い夏期、年末年始、土曜日等につきましては基準額とし、平日につきましては基準額を400円下回る額と定めて、昭和58年4月1日以来運営してまいりましたが、今回、この申し合せ事項を変更することとなり、平日の宿泊利用料を昭和63年4月1日から基準額どおりに引き上げることとなりましたので、条例を改正しようとするものでございます。

次に、議案第23号市道路線の変更及び認定についてでございますが、市道2116号線を路線変更し、新たに2138号線ほか2路線を市道

に認定しようとするものでございます。

次に、議案第24号昭和62年度館山市一般会計補正予算（第4号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ3億648万2000円を追加し、総額103億8528万9000円としようとするものでございます。

歳出予算の追加の主なものといたしましては、総務費では、地方バス生活路線4路線を維持するための補助金といたしまして336万3000円、民生費では、館山市社会福祉振興基金に対し、基金づくりの醸成を図るため社会福祉振興基金助成金で402万3000円、心身障害者児医療費給付扶助費で、給付件数等の増によりまして232万円、また、老人保健特別会計への繰出金で4612万2000円、これは、老人医療費に伴う支払基金交付金及び国・県負担金の交付が、一部翌年度精算となることに伴い、一般会計で一時補てんするためのものでございます。農林水産業費では、県事業の富崎漁港改修工事につきまして、事業費及び事業量の変更に伴う負担金で1250万円、土木費では、館山駅西口地区土地区画整理事業に係る市街地整備用地購入費で7085万7000円、教育費では、体育施設の充実を図るため、市民運動場用地購入費で1234万9000円、諸支出金では、館山駅周辺市街地整備をはじめ都市施設整備等、今後予想されます事業の用に供するための用地購入費で2億2082万2000円、土地開発基金繰出金で2884万7000円、これは、運用利子相当分でございます。また、次年度以降の投資的経費の財源といたしまして、有効な利活用を図るため、1億5000万円を財政調整基金に積み立てることといたしました。

次に、歳出予算の減額の主なものといたしましては、民生費では、老人ホーム入所措置扶助費で527万円、児童福祉法第51条による措置委託料で991万8000円、これは、措置月数及び措置児童数がそれぞれ当初見込みを下回ったことによるものでございます。また、船形保育園移転改築工事請負費で、入札残によりまして312万円、生活保護費の各種扶助費で、主に医療扶助の受け入れ人員が当初見込みを下回ったことによりまして4485万4000円、衛生費では、最終処分場のタイヤブルドーザー購入費で、入札残によりまして225万円、三芳水

道企業団負担金で814万5000円、これは、千葉県水道総合対策事業に係る補助が受けられない見通しとなったことによりまして、同等額の市の補助金を減額しようとするものでございます。農林水産業費では、補助対象事業費の減によりまして、山本土地改良事業補助金で147万円、土木費では、県道改良等工事の事業内容等の変更によりまして、負担金で1134万2000円、北条海岸排水路改修工事請負費で、入札残によりまして240万円、館山駅東口地区市街地再開発事業に係る補助金及び負担金で、未執行によりまして3745万1000円、館山駅西口地区土地区画整理事業に係る地上物件等補償費で4989万4000円、これは、地権者との話し合いが不調に終わったことによるものでございます。また、街路工事請負費で1500万円、下水路調査測量設計委託料で596万5000円、下水路工事請負費で953万円、これらは、設計及び事業内容の変更並びに入札残等によるものでございます。地域排水路整備事業負担金で、県事業費の変更によりまして200万円、教育費では、要保護及び準要保護援助費で、支給対象児童及び生徒の減によりまして、小学校費265万2000円、中学校費122万円、第二中学校講堂防音改築工事請負費で入札残によりまして868万6000円、公債費では、地方債利子で407万6000円、これは、昭和61年度借入分の利率改定が実施されたこと等によるものでございます。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、市税、特別交付税、市債等により充当しようとするものでございます。

このほかに、かにた川改修工事及び都市計画街路整備事業につきまして、年度内の完成が困難となりましたので、繰越明許費の設定、また、防災行政無線整備事業をはじめ、10事業につきまして地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第25号昭和62年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）でありますが、歳入歳出それぞれ2億4619万3000円を減額し、総額25億3624万8000円としようとするものでございます。主な歳出といたしまして、療養給付費で受給件数の減少が見込まれることによりまして2億3167万9000円の減、歳入といた

しまして、支払基金交付金、国・県支出金で2億9231万4000円の減となりますので、補正財源といたしまして、議案第24号で御説明申し上げました一般会計からの繰入金4612万2000円をもって充てようとするものでございます。

以上、私の所信と諸議案を御説明いたしました但、南房総の夜明けを迎えようとする今こそ、議員各位並びに市民の皆様方と行政が一体となりまして、「活力ある文化福祉都市」を実現したいと存じます。今後とも一層の御理解、御協力を切にお願いする次第でございます。

なお、詳細につきましては、御質問に応じ、私又は事務担当者からお答えいたしたいと存じます。

また、この会期中追加議案といたしまして、人権擁護委員候補者の推薦について、館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について及び館山市収入役の選任について上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。

○議長（飯田義男君） 以上で市長の施政方針並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時58分

○議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。

よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明3月2日から7日まで議案調査のため休会、次会は3月8日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。行政一般通告質問の締め切りは、3月3日正午でありますので、申し添えます。

○本日の会議に付した事件

1 会議録署名議員の指名

- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第 1 号乃至議案第 2 5 号

